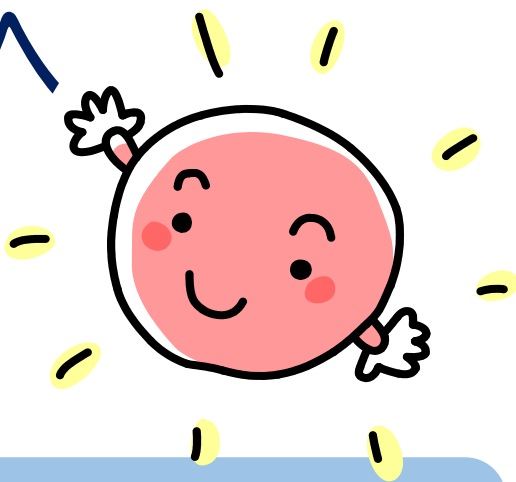


中学生の保護者の方へ

令和5年度版

ひだまり



こんにちは！

県警察マスコットキャラクター「けいたくん」です。

保護者のみなさまは、非行防止や被害防止について、お子さんと話し合ったことがありますか？

この教材は、非行防止や被害防止等について、お子さんとしっかり向き合って一緒に考えてほしいという願いを込めて作成しました。

お子さんには「あじさい」という教材を作っています。ぜひ、この機会に、お子さんがどのように感じているのかを知り、社会のルール、非行防止や被害防止等について、共に考え、話し合ってみてください。

タイトルの「ひだまり」は、保護者のみなさまが、お子さんにとって心安らぐあたたかい場所となってほしいという願いが込められています。



けいたくん

「非行少年を生まない社会づくり」 を推進中です！

少年非行の背景には、

- ・ 少年自身の規範意識の低下とコミュニケーション能力の不足
- ・ 家庭、地域社会の教育機能の低下
- ・ 少年が居場所を見出せず、孤立し、あるいは疎外感を抱いている

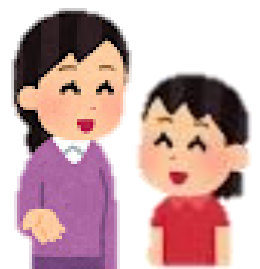


等の問題があげられます。

非行少年を生まない社会をつくるためには、地域社会の絆を深め、少年が孤立し、非行に走ることはないよう、地域社会全体で少年を見守る気運を高めていく必要があります。そのためには、社会全体として少年の特性や非行に走る要因・背景等について理解を深め、厳しくも暖かい目で少年を見守り、少年に対して、身の回りには常に自分のことを気にかけている「大人の目」があることを伝えていくことが大切です。

親の背中を見て子は育つ、子は親の鏡。親の生きる姿がお子さんにとって何よりの手本です。

ぜひ、家庭の中でしっかりと家族が向き合える時間を作るようにしてください。



法律やルールの大切さを再確認しましょう！

社会は様々な立場でいろいろな考え方を持った人が集まってできています。だから、お互い法律やルールを守ることが大切であり、社会は様々な約束で成り立っています。また、いろいろなスポーツもルールがあるからこそ素晴らしい感動が生まれるのです。

この機会にお子さんと、法律やルールは他人や自分を守るものでもあること、ルールや約束の大切さなどについて話し合しましょう。



夜間の外出はとても危険です！

滋賀県の青少年健全育成条例で、青少年の深夜（午後11時～午前5時）の外出が制限されています。

これは、子どもを悪い誘惑やいろいろな被害から守るためです。

夜間は、人目が少ないため、性犯罪などの被害が発生しやすく、非行の歯止めが効かなくなるケースもあります。また、交通事故の危険性も大きくなります。

お子さんを非行や被害から守るため、夜間に外出させないよう注意しましょう。



滋賀県の中学生の非行の現状は？

全国では少年非行が年々減少しており、滋賀県でも減少傾向にありましたが、2022年中は、万引き等の犯罪行為により検挙等された少年は410人となり、前年に比べて30人増加しました。また、そのうち中学生が全体の約4割を占めています。

怠学等の不良行為で補導された中学生は851人で、前年に比べ148人増加と大幅に増加しており、行為別では、怠学で271人、深夜はいかいで267人、喫煙で133人の中学生が補導されています。



いじめやトラブルからお子さんを守るために！

いじめの被害に大きいも小さいもありません。

「SNS」のグループ内での無視やグループ外しなども、いじめです。被害者にとっては、どんないじめもとても辛いものであるということを理解させ、いじめを絶対にしないという気持ちを持たせましょう。



殴る、蹴る、叩く、髪の毛を引っ張るなど	➡ 暴行罪	人の持ち物をわざと壊す、ノートに落書きをするなど	➡ 器物損壊罪
殴る、蹴る、叩くなどの暴行をして怪我をさせるなど	➡ 傷害罪	嫌なことを無理やりさせるなど	➡ 強要罪
人のお金をとる、人の持ち物を隠すなど	➡ 窃盗罪	ネットに悪口を書き込むなど	➡ 侮辱罪 名誉棄損罪

いじめとされるこのような行為は犯罪になります！

多数の中学生が万引きで検挙補導されています！

2022年中に滋賀県内で万引きで検挙等された少年は92人で、うち中学生は39人と、前年より1人減少しました。学識別では、高校生を抜き去り、中学生が万引き少年全体の約42%を占めています。

お店の商品を盗むことは、「窃盗」という犯罪行為です。そして、商品には持ち主がいます。被害にあったときの被害者の気持ちを考えさせましょう。

万引き、自転車盗、オートバイ盗といった犯罪は、初発型非行と呼ばれ、繰り返すことにより罪悪感が麻痺（まひ）し、大きな犯罪への入口となってしまうのです。



大麻の乱用で検挙される少年が増加しています！

近年、全国的に大麻の乱用で検挙される少年が増加し、2022年中は、912人となっており、中学生も11人検挙されています。

大麻は、脳の正常な成長を妨げ、依存性のある極めて有害な違法薬物です。

1回でも乱用すると幻覚、記憶障害等を引き起こします。

絶対に手にしないように注意を促してください。

大麻草



乾燥大麻



「闇バイト＝犯罪」へ加担させないために！

目先の遊ぶ金欲しさから、少年がSNSなどで「闇バイト＝犯罪」に安易に応募し、強盗や特殊詐欺の受け子（被害者から現金等を受け取る役）や出し子（ATMから現金を引き出す役）として、重大な犯罪に加担してしまうことが大きな社会問題になっており、中には中学生も検挙されています。

闇バイトは「アルバイト」ではなく単なる犯罪です。闇バイトの募集は犯罪の実行役の募集にほかなりません。

犯行グループは犯罪の実行役として少年を都合よく利用した後、簡単に「捨て駒」として切り捨てています。

また、一度加担すると、犯行グループから脅されるなどして、検挙されるまで抜け出すことができなくなります。

闇バイトの危険性や悪質性について、子どもたちに理解させ、「闇バイト＝犯罪」への加担を防ぎましょう。



闇バイトは犯罪です！

事例集

犯罪実行者募集の実態～少年を『使い捨て』にする『闇バイト』の現実～



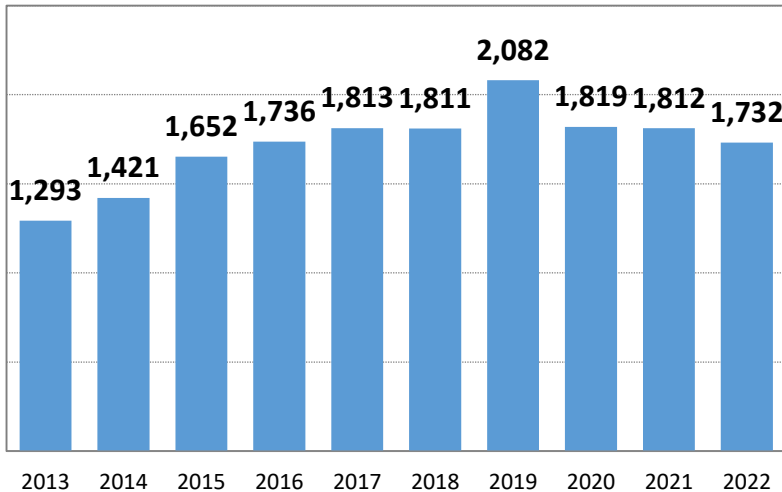
https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/yamibaito/yamibaitojir_ei.pdf (警察庁HP)

SNSに起因する被害が増加しています!



全国のSNSに起因する事犯の被害児童数は、1,732人、前年比では80人の減少となりましたが、依然高止まり状態です。

SNSに起因する被害児童の推移



罪種別では、児童ポルノや青少年保護育成条例違反等の性被害がほとんどを占めています。

4分の3が被害児童からの投稿をきっかけに被疑者と知り合い被害にっています。

9割近い児童がフィルタリングを利用していませんでした。

子どもをインターネットやSNSの被害から守るための3つのポイント

その1 子どもと一緒にルールづくりをしましょう!

子どもがインターネットを安全に利用するために、子どもの能力や発達、日常生活に見合ったルールづくりをしましょう。保護者から一方的に押し付けられたルールでは長続きしません。子どもとコミュニケーションを図り、子どもが自分自身にとって何が必要かを考えたうえで、子どもが納得するルールづくりをしましょう。子どもがトラブルに巻き込まれてからでは遅いのです。



利用時間や利用場所を決める

困ったときは大人に相談する

ネットで知り合った人に写真を送らない

ネットで知り合った人と会わない

個人情報を他人に教えない

などなど、いろんなルールを子どもと一緒に考えてみてください。

その2 フィルタリングを必ず利用しましょう！

子どもを守る手段として安全なインターネット環境を提供するのは大人の責任です。被害にあった子どもの多くはフィルタリングを利用していませんでした。子どもを守るために、スマホやインターネットに関する正しい知識を身につけ、子どもが使用するスマホ等には必ずフィルタリングを設定しましょう。

「インターネット環境整備法」では、販売店側が携帯電話機等を販売する際、①青少年確認、②フィルタリングの説明、③フィルタリングソフトウェアやOSの設定が義務付けられています。

保護者の方は、携帯電話機の利用者が18歳未満の場合、その旨を申し出て、フィルタリングの説明を受け、フィルタリングを使えるようにしてもらいましょう。



フィルタリングで子どものスマホ利用が見える！ 守れる！

フィルタリングサービスとは、①有害・違法な情報を遮断できる、②アプリの利用を把握できる、③利用時間を管理できる、サービスの総称で、子どもが安全にインターネットを使い、保護者が安心して見守るための機能となります。

【フィルタリングサービスの特徴】

- ①家庭のルールや子どもの成長にあわせて、使える機能・使えるアプリを調整できます。
- ②スマホを何時間使ったかといった利用時間が確認できることに加えて、保護者の端末でアプリの強制停止やアプリのインストールを保護者の許可制にすることも可能です。また、子どもがどんな情報を見ていたのか後からチェックすることもできます。
- ③犯罪、薬物、詐欺、アダルトといった違法・有害情報サイトへのアクセスなどを遮断できます。



【一般的なフィルタリング設定の4ステップ】

Step 1 保護者と子どもの端末で
アプリをダウンロード

Step 2 アプリの初期設定をする

Step 3 モードを選択
(小学生・中学生・高校生等)

Step 4 利用制限や利用時間の
制限をカスタマイズ

その3 インターネット・SNSの危険性を教えましょう！

インターネットは、趣味が広がったり、生活を便利にしたりする一方で、性、暴力、自殺、薬物等の有害な情報が氾濫（はんらん）しています。また、個人情報が悪用されたり、架空請求の被害にあう等の危険性もあります。

さらに、最近では、SNSを通じた子どもの性犯罪の被害や、裸の画像を遅らせる児童ポルノ被害などの犯罪被害が多発しているほか、SNSで知り合った相手に不用意に会って誘拐や殺人等の凶悪な事件に巻き込まれるケースもあり、大きな問題になっています。

SNSには、性的な目的で子どもを狙う犯人が潜んでいます。犯人は、子どもの理解者のふりをしたり、相談相手になったりして近づいてきます。

また、プロフィールにうその性別や年齢等を使ったり、他人になりすます等、犯人は手の込んだ手口を使うことが多くなっています。



「自画撮り被害」に注意！

だまされたり、おどされたりして、自分の裸や下着姿を撮影させられて、メール等で送られるという「自画撮り被害」が多発しています。また、自画撮りした画像をSNS上に公開することで、児童ポルノ事犯の被疑者となってしまうケースも発生しています。



●ぴったり相談窓口 子供向け

子供の性被害等に関する相談窓口案内Webサイト
<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syonen/annai/index.html>
(警察庁HP)



子どもを虐待から守りましょう！



児童虐待とは、保護者が監護する児童に対して、

① 身体的虐待

(なぐる、ける、たたく、激しく揺さぶる、逆さ吊りにする、熱湯をかける、やけどを負わせる、家の外に閉め出す等)

② 性的虐待

(子どもへの性交・性的行為、子どもに性交を見せる、児童ポルノの被写体にする等)

③ 怠慢又は拒否（ネグレクト）

(乳幼児を家に残して外出する、自動車内に放置する、適切な食事を与えない、病気でも病院に連れて行かない、子どもの意思に反して学校に登校させない等)

④ 心理的虐待

(脅す、無視する、拒否的な態度を示す、子どもの心を傷つけることを繰り返し言う、子どもの前で配偶者や家族へ暴力をふるう等)

を加えることをいいます。

虐待は、子どもの心身の成長を阻害し、その発育に深刻な悪影響を及ぼすことから早期の発見が求められます。

児童虐待に関する相談・通報は、

「児童相談所虐待対応ダイヤル 189（いちはやく）」

へ電話していただくか、警察へ110番通報してください。

「189」は、匿名でも相談を行うことができ、内容に関して秘密が守られます。また、無料で24時間対応しています。



～ 保護者のみなさまへ ～

保護者のみなさまは、子どもの健やかな成長を願って、毎日生懸命子育てされていることと思います。現在の子どもたちは、インターネット社会に育っており、少子化や人間関係の希薄化等を背景として、取り巻く社会環境は依然と大きく変わってきています。

将来を担う子どもが豊かな人間性をはぐぐみ、規範意識をしっかりと身につけ、非行に走ったり、被害にあうことなく健やかに成長し、ひとりだちしていくことは、保護者だけではなく、社会全体の願いです。

そのためには、保護者をはじめとした周りの大人全員が、子どもの手本となるような道徳観、遵法意識を身につけて示すことが必要であるということも、まずもって再認識したいものです。

このパンフレットが、非行防止や被害防止等について、家族で話し合うことができるひとつのきっかけになればと思っています。



もっとくわしく知りたいあなたへ（滋賀県警察ホームページなどの紹介）

- ◆ホームページ <https://www.pref.shiga.lg.jp/police/>
- ◆YouTube <https://www.youtube.com/user/ShigaPoliceOfficial>
- ◆Facebook <https://www.facebook.com/shigapolice>
- ◆Twitter https://twitter.com/shiga_police



滋賀県警察ホームページ



滋賀県警察ツイッター



滋賀県警察フェイスブック



滋賀県警察ユーチューブ

